

おおとり会だより

一点「剣祭」を目指して 知恵を力を出し合いました

会長 長屋 梅子

(国文学科・短大七回生)



何があっても季節だけは確実に巡ってくるものなんです。このお便りがお手元に届く頃は春の息吹を存分に浴びて、どなたも逞しく動き出しているのではないのでしょうか。同窓会の皆様、お元気でいらつしやいますか。

さて平成二十九年度の同窓会総会は、利便性の高い会場というアンケート結果を尊重し、静岡駅に近いクールボール会館に設定させていただきました。街中での実施は初めての試みでありましたので、見えない部分が多々ありそれは心配でした。しかし当日を迎えてみれば百人程の参加をいただきました。高校生の三味線奏者ハレルヤ様(掛川出身)をお招きしたことも功を奏し、総会は大変盛況だったように思います。多くの方に御指導・御鞭撻いただきましたこと、心から感謝申し上げます。こうして二十九年度も快適なスタートを切らせていただきましたが、年二回のイベント(剣祭・総会)を当番幹事に当たった方が一年間、企画・運営・実践とやり通すには非常に御苦労が多く、物理的・体力的・精神的にも若い頃のように事が進まないのが実情です。中には「剣祭不参加にしては」という声もかなりありました。しかしこの剣祭参加こそが唯一大学との接点であり、先輩諸姉が残してくださったおおとり会の無形財産でもあり、会の証でもあるような気がして、これを失くすということは、私には耐えがたいもの

がありました。そうだ、形を変えよう、宿題を抱えて毎月の会合に一年間出続けるという事は、高齢でなくても大変なこと、そこを理解しなくては・・・と「剣祭参加については、役職の枠を外し、すべてのおおとり会員の中から協力者を募ってみましょう。理事のイベント係と当番幹事は、後半の総会に携わっていただくという二分した形は如何でしょうか。」と持ち出してみました。議論の末、役員会の決定をいただき、同窓生の中から協力者を募ることにしました。

今年のお出店テーマ「昔の遊びにチャレンジ」、先輩がスマホで育った若者に贈る素敵なテーマとは思いませんか。二十三名の協力者がこのテーマに向かって真剣に協議し、準備し、製作してくれました。

決定すれば寸暇を惜しんで仕事を進め、無言・静寂の時間が過ぎていきます。「おてだま・おはじき・輪投げなどの遊びコーナー」「昔話読み聞かせコーナー」「手作り品販売コーナー」と三グループの設定で準備に余念がありません。物事を自分たちで決め、納得したら目標の一点に向かって底力を発揮する彼女たち、胸に凝りなどあるはずはないと確信し、更に協力者の集まりで正解だったことに深く感動を覚えました。

ただ、私たちのこの一生懸命な気持ち、天に通じなかったことは残念でなりません。時期外れにやってきた台風のため、中止となりました。どうにも遣り切れない協力者の気持ち、痛いほど伝わってきました。そこへ「来年に持ち越そう。」と司会者の声、誰からも異論は出ませんでした。私たちは来年を約束して、二十九年度の協力者の会を解散しました。次の総会も皆で知恵を出し、力を結集してくださることでしよう。

今年も学長さん始め先生方の御指導に感謝し、会員の御健康・御活躍をお祈り致して御挨拶と致します。

はばたき寄金

平成二十九年度「おおとり会賞」は、左記の団体が選出され、平成二十九年四月二十日に行われた開学記念行事において、長屋梅子会長から表彰されました。

静岡学生NGOあおい

「静岡学生NGOあおい」は、実際にアジアの途上国で子供達の将来の為に事業を行う静岡県立大学の唯一の国際協力団体です。平成二十九年度で設立十三年目、対象国であるカンボジアで現地のNGOやNPOのパートナーとして事業を開始して八年目となります。事業運営や方向修正を行う為、春と夏の長期休暇に現地を訪れ事業の検証をしています。カンボジアのNPO団体と協力し、「子供の権利促進プロジェクト」を行い、幼稚園建設資金や奨学金の贈与を行い、子供の権利を守る為の環境づくりに貢献しています。



輝く女性シリーズ IV



百年前の日米連携の 国際人道支援の 事蹟に関わった私

北室 正枝

英文学科(短大一六回生)

約百年前、革命や内戦で混迷の極みにあったロシア。酷い食糧難のため、首都ペテログラードを離れ、遠くウラル地方に疎開した約八百人の子供たちがいました。疎開先でも激しい内戦に巻き込まれ、やがて訪れた酷寒の地で孤立、凍餓死の危機に直面したのです。彼らを危機一髪で救い出し、手厚い保護を与えたのが、ルドルフ・トイスラー博士が率いた米国赤十字シベリア救護隊でした。子供たちは比較的安全な極東ウラジオストクまで移されましたが、やがてそこも戦禍が及びそうになりました。これを深く懸念したのがシベリア救護隊長ライリー・アレン。彼は子供たちを連れて船で洋上に逃れ、地球をほぼ一周して親元に返そうと決意したのです。ただあまりにも無茶な計画と見なされ、米政府自体も含め、方々から背を向けられていた中、やっと応じてくれたのは、日本船陽明丸。神戸の船会社社長、勝田銀次郎氏の貨物船でした。そして、帰還捕虜も加えた総勢約一千名の乗員・乗客は、航海中は国籍の違いを超えて一致協力しました。二つの大洋を越え、機雷の漂う危険な北海道に到達したのです。大方の子

供が無事に親元に帰ることができましたが、疎開の日から二年数ヶ月の歳月が流れていました。



さて、この快挙をなし遂げた陽明丸ですが、その功績はその後一世紀間、歴史の闇に埋もれていました。ところが、二〇〇九年、サンクトペテルブルグ市で個展を開いた私は、その折に訪れたオルガ・モルキナ女史と偶然に出会い、陽明丸船長の探索を懇願されたのです。彼女の祖父父母がその船に乗っていたからです。そして、二年間の努力の末、ついに船長が「茅原基治」氏であることを突き止めました。また、船長自身の貴重な手記も併せて発見しました。

そして、二〇一二年にはモルキナ女史が初来日、山口県笠岡市で船長の墓参が実現しました。二〇一三年にはNPO人道の船陽明丸顕彰会を設立し、今に至っています。モルキナ女史との運命的出会いから十年が経ちました。振り返れば、この事蹟に関わったことにより、私の人生は変わりました。さらに「人間とは」という問いを掘り下げる機会が与えられた気がします。昨年四月「陽明丸と八〇〇人の子供たち」(並木書房)を上梓しました。お読みいただければ幸いです。

「素晴らしい 青春の日々をありがとう」

宇田川 成子 国文学科(大学七回生)

「ひよっこ」という朝ドラを御覧になった方は多いのではないのでしょうか。ヒロインが奥茨城から集団就職で出てきたのは私達の女子大入学より七、八年前の



ことだと思うのですが、埼玉から出てきて大岩の和光寮に入った自分と重なり、忘れていた様々な事を思い出すことができました。自治寮ということで、すべて話し合いで決められ運営されていたのが違う点ですが、部屋の持ち物、食堂のありよう等総て似ていて、当時の床のきしみが聞こえてくるようでした。

四人姉妹の一番下で、指示される事の多かった私は、様々な人がいて自由にできる寮での生活が楽しく、工夫するのが好きで、クリスマスには寮の台所を借りて鳥一羽蒸したり焼いたりして飾り、驚かれたこともありました。アルバイトは泊まり込みでの青年の家で友かない等しまくりでしたが、狐ヶ崎ヤングランドで友人のやっていたお化け屋敷のバイトの代わりをやり、濡れ雑巾をヒモで垂らしたり、竹に付けた鈴などを鳴らして悲鳴を聞いた快感など、「ちびまる子ちゃん」を見る度に思い出します。

今年二十九才になる息子には知的障害があります。小さい時から電車が好きで、定期券を持っていた主人が土日担当ということで出掛けてもらい、漢字は駅名で覚えられました。旭川や大阪、茨城への転勤でも一緒に電車に乗りまくり、一人で新幹線に乗って祖父宅まで行ったりできるようになりました。私が近所の学習塾の手伝いをしていたので「冒険教室」という山登りやキャンプ・スキー・長距離サイクリング等のスタッフを息子と一緒にやり、流しソーメンや焼き芋のイベントも一緒に出、トラブルもありましたが良い思い出です。その学習塾は今「さいたま山に親しむ会」となり、大人の山歩きのお手伝いをするNPOとなりました。お陰で主人も息子も山へ行くのが大好きになりました。月に一度夜に六年間続けてきた「歌声とお食事」の食事担当を昨年終了しました。付き出しに始まってデザートまで、しっかりと肉や魚料理、季節の御飯を頂き、四人の演奏家と

共に大声で歌いまくる楽しい会で、二十人前を一人で使用し、歌いながら料理の説明などもして、大変でしたが充実したひとときでした。

二〇〇三年から始めた障害を持った家族の為の「交流ハイキング」は、春は日帰り、秋は一泊というスケジュールで、ボランティアの方々も借りて、親御さんが伸び伸びでき、本人も自然の中で体験する心地良さを感じてもらえるように、これからも続けていくつもりです。

民生委員は五期目になります。息子に協力するから続けて欲しいと言われ続け、最近では協力してもらえないこともあります。周りの方々に理解して頂いて、楽しみながらやらせて頂いています。

茶畑の中、富士山に見守られて通った大学時代は今でも私の宝です。友人達と過ごした日々は輝き、その後の生活のベースになっています。群れる楽しさも知りましたが、一人で責任を持って決断する力も養ってくれました。先生方に勉強の楽しさも教えて頂きました。この場を借りて、静岡の地で温かく見守って下さった皆様にお礼を申し上げます。ありがとうございます。

『長唄』から『ロシア語』へ 不思議な出会いが広がって

曾根恵美子 食物学科(短大五回生)

私は、自宅(八階)の窓から真正面に大倉山スキージャンプ場が見える北海道札幌市に住んでおります。望遠鏡を覗けば、滑っている高梨沙羅ちゃんも見えます。長野五輪スキージャンプで活躍した船木選手は、若手の育成に尽力され、今も自身で大会に参加しジャンパーとして飛んでいます。

さて今回は、以前住んでいた釧路でのお話をしましょう。ある夕方、友人と小さなレストランに居ると、数人の外国のアイスホッケーの選手が入ってきました。これはチャンスと話しかけたくなり、「こんにちは！」と



高梨沙羅ちゃんのおばあ様(左)と一緒に

挨拶すると「今晩はでしょ！」と返してくれました。日本語が美しく感じられ、その場は言葉の勉強の教室となりました。彼らは当時のロシアの名だたるシャドリ選手とベラウソフ選手だったのです。私は単語帳を持って、

あちらのコート、こちらのコートと応援に出掛けました。ロシアの船が行き来する釧路という土地で、ロシア人たちと交流するうち、私はロシア語を学んできました。

そんな好奇心が、ロシア語のスピーチコンテストという場を引き寄せたのでしょうか。昭和五十七年、北海道新聞社主催の『全道ロシア語弁論大会』に、『私の一日』という題で出場しました。子供の頃から習っていた邦楽・長唄・舞踊・鳴物などが本番に役立ったのか、ロシア領事館からの審査員の先生方の前で歌のように語ることができ、ベテランや語学大学生を抑えて優勝することができました。大会の終わりに、審査員から「釧路には能舞台がありますか。」と問われて、「いいえ、私は歌舞伎舞踊です。」と答えると、「どんな曲がお好きですか。」と再び問われました。「長唄の『連獅子』です。」と答えると「連獅子は、アア成駒屋さんですね。」と笑顔で返されました。日本文化を熟知したロシアの先生と、まるでお友達のような雰囲気でお話できたことを有難く覚えていました。

釧路から札幌に移る頃、『私は、この街で何を待たのだから?』と自問自答し、唐突にも『エルミタージュへ行ってこよう。シベリア鉄道に乗って』と、気持ち盛り上がりました。

平成三年、横浜からロシア船に乗り、学生のツアーに入れてもらえる幸運にも恵まれ、目が覚めたらモスクワで



全道ロシア語弁論大会



歌舞伎舞踊「末広がり」

した。しかし到着したその真夜中、ゴルフバチョフからエリツインに代わるクーデターが起こりました。時代が大きく変わる場に居合わせた不思議を感じました。今、私は札幌で五年「石川啄木を愛する会」に所属しております。また音楽の友人達と『童謡を歌おう会』にも入って皆さんと一緒に楽しんでおります。色々な出会いから、日本の文化を心から愛することができたように思います。おひとり会の皆様のご健康とご多幸を心からお祈りしております。

理事会からの報告

平成二十九・三十三年度 副会長

- ・国文学科 山本千秋(大学五回生)
- ・英文学科 石田加苗(大学一〇回生)
- ・食物学科 高橋節子(大学四回生)
- ・被服学科 鈴木明美(大学二回生)

組織と活動内容変更について

従来おとり会は、理事会組織が、イベント係・会報係・名簿係の三部門に分かれて活動し、各学科のクラス幹事による全体幹事会が五年に一度の当番制で、おとり会総会と剣祭の参加イベントの運営を担ってききました。平成二十九年度からは、クラス幹事の負担を軽減し、円滑に活動できるように次の二点を変更しました。

総会に関しては、事務方全般および第二部のイベントの企画をイベント係の理事が、総会当日の開催お手伝いを当番幹事が担当することとなりました。剣祭の参加イベントに関しては、会長が総責任者となり、役員・理事・幹事の枠を外して、会員全体から有志を募り、その協力者によって企画・運営される形に変わりました。今回初めての剣祭参加イベントは、残念ながら悪天候のため不参加となりましたが、その内容については、長屋会長のご挨拶の中で紹介されています。これからも、剣祭に参加・協力を御希望される方は、ぜひご連絡ください。

新たに、同窓会の今後を見据えて、ホームページの開設も前向きに検討しています。



平成29年度総会報告

平成二十九年六月十一日(日)、おとりの会総会が開催されました。今年度は静岡県立大学の草薙キャンパスではなく、JR静岡駅近くのクーパーホール会館に会場を移しての開催となりました。県立大学からは合田副学長、廣部元学長、真鍋学生部長、石川学生室長、恩師の榛葉先生、大津山先生、中田先生、高瀬先生の八名の来賓の先生方のご臨席を賜り、九名の会員の皆様の御参加をいただきました。



於クーパーホール会館

第一部の総会は、始めに来賓の合田先生より御祝辞をいただき、その後、平成二十八年度事業報告、決算および会計監査報告、会則改正、平成二十九・三十年度の新役員の選出計画案・予算案という議案に対し、審議いたしました。賛成多数で可決・承認されました。次いで、第一部の終わりに、二十九年度的なおとりの会賞を受賞した静岡県立大学のボランティア活動団体「静岡学生NGOあおい」を代表して二名の学生さんに御挨拶をいただきました。

第二部は島田市在住の高校生でプロの奏者でもある大塚晴也さんによる津軽三味線のライブ・コンサートが行われ、世界大会や全国

大会で何度も優勝・入賞をされた迫力ある演奏に聞き入りました。津軽三味線の伝統的な曲目から、同窓会会員の年代に合わせた選曲もあり、会場の制約がある中で津軽三味線の世界に浸る時間を作っていた、たいしたこと大塚さんに感謝いたします。



おとりの会賞
「静岡学生NGOあおい」



大塚晴也さん 津軽三味線奏者

第三部の懇親会では、恩師の先生方や旧友との再会に懐かしい日々を思い出し、日常を離れて大変楽しい時を過ごすことができました。今年度は二、七、二二、一七回の卒業生が当番幹事を務めさせていただきました。来年度より、当番幹事の皆様が主軸となつて企画運営するこれまでの総会運営方法が若干変わります。総会に御参加いただきました同窓生の皆様には心より御礼申し上げます。今後も多くの皆様の御参加をお待ちしています。



廣部元学長



高瀬先生



榛葉先生



大津山先生



中田先生

平成28年度 決算報告書

総収入 8,921,815円 総支出 1,119,071円 残高 7,802,744円(繰越金)

自平成28年4月1日
至平成29年3月31日
(単位:円)

収入の部					支出の部				
費目	28年度予算額	決算額	増減	備考	費目	28年度予算額	決算額	増減	備考
預金利息	10,000	19,880	9,880	定期貯貯・通常貯貯	事業費	200,000	103,438	-96,562	総会・剣祭
基金入金	50,000	99,690	49,690	26件	会議費	150,000	155,038	5,038	役員会・理事会・幹事会・総務委員会・名簿委員会
剣祭収益金	20,000	0	-20,000		印刷費	20,000	8,740	-11,260	会議用資料・総会資料印刷
雑収入	0	21,850	21,850	復興支援基金売上金 定期預金解約利息	通信費	40,000	31,747	-8,253	会議通知・来賓案内状・連絡等
					慶弔費	50,000	0	-50,000	
					事務・雑費	20,000	17,731	-2,269	印刷用紙・インク・文具等
					平和大印刷	220,000	207,533	-12,467	会報・総会案内・アンケート
					腕サラト	500,000	476,675	-23,325	会報・総会資料発送業務・データ管理3811名
					予備費	30,000	118,169	88,169	熊本地震義援金・東北地震復興支援等
小計	80,000	141,420	61,420		小計	1,230,000	1,119,071	-110,929	
前年度繰越金	8,780,395	8,780,395	0		次年度繰越金	7,630,395	7,802,744	172,349	
総計	8,860,395	8,921,815	61,420		総計	8,860,395	8,921,815	61,420	

上記のとおり報告致します。

平成29年3月31日

会長/長屋梅子

会計/瀧浪恵子・赤堀美里

監査の結果、相違なく適正と認めます。平成29年4月23日

会計監査/春田みね子・杉山祐子

平成29年度 予算

総収入 8,007,744円 総支出 8,007,744円 残高 0円

自平成29年4月1日
至平成30年3月31日
(単位:円)

収入の部					支出の部				
費目	29年度予算額	28年度予算額	増減	備考	費目	29年度予算額	28年度予算額	増減	備考
預金利息	5,000	10,000	-5,000	定期貯貯・通常貯貯	事業費	300,000	200,000	100,000	総会・剣祭・会報
基金入金	200,000	50,000	150,000		会議費	150,000	150,000	0	役員会・理事会・会報編集会議・名簿委員会
剣祭収益金	0	20,000	-20,000		印刷費	20,000	20,000	0	会報・総会案内状・会議用資料
					通信費	40,000	40,000	0	会報・総会案内状送付・会議通知
					慶弔費	50,000	50,000	0	弔電・香典・記念品等
					事務・雑費	20,000	20,000	0	印刷用紙・インク・文具等
					平和大印刷	220,000	220,000	0	会報・総会案内等
					腕サラト	500,000	500,000	0	会報・総会案内発送業務・データ管理
					予備費	30,000	30,000	0	
前年度繰越金	7,802,744	8,780,395	-977,651		次年度繰越金	6,677,744	7,630,395	-952,651	
合計	8,007,744	8,860,395	-852,651		合計	8,007,744	8,860,395	-852,651	

*他費目への流用を認める

繰越金内訳 (定期貯貯 7,185,848円) + (通常貯貯 616,896円) = (合計 7,802,744円)

英文学科 大学十回
久保田育子

編集委員 石田加苗・岩崎たか江・加藤久江・森 恵美

国文学科 山本千秋
英文学科 瀧 智子
食物学科 赤堀美里
被服学科 長田直子

住所変更および住居表示変更の場合は各科の名簿係またはクラス幹事までご連絡ください。
尚、クラス幹事は変更内容を各科の名簿係またはクラス

おとりの会報編集委員の皆様へのお礼